

1/31

寒さの中で心身を鍛える

少林寺流空手道「錬守会館」鳥取地区本部（日南支部長：舟越寛継さん）主催の空手寒稽古が行われ、日野郡内の門下生約30人が1年間の練習の成果を披露しました。今年は新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの開催でしたが、気合の入った杉板割や、日野川浅瀬での寒稽古に観衆から拍手喝采が起きました。



1/29

初のオンライン開催 野分の館碑前祭

世界的文豪・井上靖さん（日南町名誉町民第1号）の命日に、井上さんを偲ぶ会「野分の館『碑前祭』」がオンラインで開催されました。井上さんは戦時中に家族と日南町（当時は福栄村）に疎開されていました。町では、井上さんの業績をたたえ、交流の歴史を永遠に残すため「井上靖文学碑」「野分の館」「詩碑」が建てられています。碑前祭は平成6年から有志の方々が始め、平成21年からは野分の会（会長：長谷川千明さん）が主催しています。今年は、



初のオンライン開催となりましたが、コロナ禍でも遠方のご親族の方とつながることができ、心温まる会となりました。

2/5

日南町消防団が 優良消防団表彰を受けました

鳥取県消防大会が開催され、日南町消防団が優良消防団として県消防協会から表彰旗表彰を受けました。この表彰は無火災や火災減少、また消防任務遂行の著しい業績がある消防団に対して授与されるものです。県下でも火災の少ない現状、火災や災害等での活躍、また操法大会での優秀な成績が評価され、昭和44年以来2回目の受賞となりました。この

度の受賞について木山宗司消防団長は「消防団の活動が評価され嬉しく思う。今後も町民の安心安全のため、日々の訓練に努めていきたい」と話されました。



2/4

宮崎県日南市へ雪を送る

1987年から交流が行われている宮崎県日南市に雪を送るため、日南小学校1年生が張り切って発砲スチロールに雪を詰めました。児童は、「雪が降らないなんてびっくり、南の暖かいところにある県なんだから」と驚きながらも日南市に思いを馳せながら雪を集めました。小学生が詰めた3箱に加え、日南町商工会が5箱準備し、計8箱が送られました。



2/16

論文「自然と共存し人に優しい農業とは」日本で 優秀な5人に選ばれる



日野郡3町公設塾「まなびや縁側」の塾生であり、高校1年生の白迫健翔さんが、金融と経済を考える第18回高校生小論文コンクールで1802点の中から日本銀行総裁賞を受賞され、授与式が行われました。白迫さんは、まなびや縁側の活動として、「自然と共存し人に優しい農業とは」をテーマに日南町のさまざまな農家をまわって勉強していることについて論文にまとめられました。授賞式では、「みなさんの協力があって受賞できた。これからも農業の知識を身に付けて夢を実現できるように頑張りたい」と話され、夏からお世話になっている坪倉農園の坪倉昌さん、京子さんからの花束贈呈に笑顔を浮かべました。

